



翔生

(しょうせい)

青年部CIは「YEG(ワイイージー)」に決まる

YEGは「若き企業家集団」の略称

第10回全国大会で発表

特別委員会 イメージ調査参考に制作

全国商工会議所青年部連合会では、昨年十一月十六日静岡県浜松市での第十四回全国大会式典に先立ち開催された第十三回通常委員会総会において商工会議所青年部CI(コーポレートアイデンティティ)が提案発表され、慎重審議の上、愛称名「YEG」などを決定した。

これは商工会議所青年部が組織化に動きはじめて十年、また全国における商工会議所の青年部設置率が七十パーセント近くになったいま、商工会議所青年部がより社会的に認知されることの必要性から、これまでに打ち出された「商工会議所青年部の歌」をはじめとして、「綱領」「指針」そして「青年部への提言」をさらに凝縮した二十一世紀へ向けての明日の商工会議所青年部をイメージしたシンボルで分かりやすい「ロゴマーク」など新たなイメージづくりが求められていた。

これをうけて、平成二年度特別委員会では「CIの導入と普及の推進」を活動方針とし、記念すべき第十回全国大会での発表に向けて、年初以来イメージ調査を行うなどさまざまな角度から検討を重ねてきた。

(1)CI導入のきっかけと目的について：国際化の進展と複雑化・多様化する経営環境のもと、全国大会第十回大会をきっかけとして商工会議所青年部がより社会的に認知されるアイデンティティを確立するためのCI導入を図る。

(2)CIを推進するにあたって：作業として①コンセプト②愛称名(簡略名称)③ロゴタイプ④シンボルカラーを定めることとし、これら作業を進めるため、三月上旬、商青連加入二百四十五青年部に対してイメージ調査を行った。

(3)コンセプトについて：イメージ調査の結果、圧倒的に多かった「フレッシュ」「ブルー」と「旗」「バレット」「Tシャツ」「名刺」「名札」「封書などをつくる際には是非使用いただきたい。

(4)愛称(簡略名称)について：日本語、英語いろいろな案の中から、最終的に日商が海外向けに英語で表現している「Young Entrepreneurs Group」若き企業家集団の頭文字をとり「YEG」とした。また、これまでバラバラだった英語による青年部の表現を統一するとともにコンセプトとも合致するよう配慮した。

(5)ロゴマークについて：シンボルを基本としてゴシック体でデザインした。また、商工会議所の中の青年部ならではの独自のマークはつくらないで、商工会議所マークとロゴタイプを併用した。

Symbol Logomark

これまでに各地商工会議所で使用されている商工会議所マークの下に、ゴシック体でデザインしたシンプルで馴染み易いロゴマークとなっています。ロゴは、商工会議所青年部の英語名(Young Entrepreneurs Group)の頭文字をとったものですが、同時に商工会議所青年部の持つコンセプト(若さ、情熱、広い視野をもった経営者=Youth, Energy, Generalist)を表わしています。

シンボルロゴマーク



今、何故CIが必要だったのか

商青連会長
小林幹生

二十一世紀にむけて、この激しい世界の変化の中、日本として商工会議所青年部の新しい方向を見出す為、平成二年度の重点事業としてCIに取り組みすることにした。

CIとは、コーポレート・アイデンティティ(Corporate Identity)の略称で、一般には、コーポレートとは「企業」、アイデンティティとは「自己」を明確にする。個性を出す」という意味である。企業的には、企業理念の構築により企業のあるべき姿を明らかにするとともに、視覚面から企業のイメージアップをはかるといわれている。

年であるとともに、商青連が設立された八年前、創世期から充実に移行しつつある中、全国商工会議所四九六ヶ所の内三三九ヶ所に青年部が設立、設置率六八・三%。さて、今後増加の傾向がある。そこでブロック・県連・各単会青年部において私達商工会議所青年部と共通の理念、目的、意識と行動の認識の必要性が生じた。今、全国各地で商工会議所青年部の担い手として、又、世界においては経済のみならず政治、文化などのあらゆる面でポダグレスの時代に入っている中で、国際化・情報化、技術革新に対応できる経営者であり、そして今後日本はどうあるべきか、どう生きていくべきかである。又、全国各地で一



佐藤光一監督兼応援団長(中央)を先頭にYEG旗を振りかざして応援した青森青年部。

青森青年部に「YEG」旗

冬まつり雪合戦に登場

YEGのシンボルマークをあざやかに刷り込んだ応援団旗が、人出あふれる青森冬まつり会場に登場して注目を集めた。

青森青年部は、二月八日から十一日まで開かれた第十三回青森冬まつりに全面的に参画した。大型雪像の企画立案からクルメコナーの自主運営まで幅広く活動を展開し、重要な役割を果たした。

YEG旗は、冬まつりイベントのひとつ「国際ルール雪合戦」で青年部チームの応援に使われたもののである。青年部は知力と体力兼備の若手を選抜して雪合戦に臨み、惜しくも二回戦で負れたものの、YEG旗を押し立てた応援はひと際目立っていた。

青年経済人に期待されているものは、まさに「若さ」「新しい発想」「情熱」「広い視野」をもった経営者である。

私達商工会議所青年部の目標は、自らの企業の発展と共に「豊かで住みよいまち・地域づくり」にある。すでに、青年部には「綱領」「指針」そして「青年部への提言」が確立されているが、新たに二十一世紀にむけて商工会議所青年部の明確化・社会的認知・イメージアップの必要がここに生じた。そこで、本年度このCIを推進するにあたり、大委員長をはじめ特別委員会に対して具体的に次のお願いをいたしました。

①多くの青年団体・経済団体のあつた中で商工会議所青年部の存在を明確にすること。

②他の団体との差別化を図ることにより、会員の拡大ならびに社会的認知を求めること。

③単会の意識の向上を図りレベルアップすること。

④商工会議所青年部のイメージを一新することによりイメージアップを図ること。

その為に、シンボルマーク、愛称名は「明るく」「楽しく」「シンプル」で国際的に通じるものであることをお願いしました。しかし、この事業を展開するにあたり、予算としてはわずかに計上できず、それも一年以内で作成し発表するという大変な課題を特別委員会に課することになりました。委員会にはその情熱と行動力に期待して、これまで出来るか時間との競争であり、可能性に挑戦していただきました。

そしてついに、平成二年十一月十六日浜松の全国大会においてYEG(Young Entrepreneurs Group)「若き企業家集団」の誕生となった。同時にYEGはコンセプト「Youth(若さ)Energy(情熱)Generalist(広い視野)をもった経営者」を表わしています。

今後、YEGの普及・推進に取り組む、二十一世紀にむけた新しい時代に対応できる活動を展開していただきたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

「自己表現」を目標に

CI制作の活動経過

特別委員長 大愛恒雄



「CIとは何か」からスタートして、遂に青年部待望のCI「YEG」を完成。よろこびとともに、ほっとした表情の特別委員会の面々。(中央は大愛委員長)

本年度商青連特別委員会では小林会長の意向を受けて商工会議所青年部のCIに取り組んできたわけですが、自社でCIを導入したところのあるメンバーはいってもCI制作については培素人であり、全国大会の発表を目標にしたものの、制作期間、予算などを考えることも当初であるという自信は

なかった。にもかかわらずスタートは専門書を借りてCIとは何かをすればよいのかというところから始めなければならなかった。それによるCIの最も重要なプロセスとは自己認識、自己規定、自己変革、自己表現であるという。幸い、自己規定には「綱領・

指針」があり、自己変革については「明日への挑戦」などで既に取上げられているので、これらの見直しと自己表現との活動を絞つたり、自己表現とは「コンセプト」「愛称名」「ロゴタイプ」「シンボルカラー」と定義し、これら事項について制作することとした。そこで制作作業を進める上で、まず3月上旬商青連加入一四五青年部に対して「(a)現在の青年部が持つよいイメージと悪いイメージ(b)これから青年部の持つべきイメージ(c)簡略名称、愛称、(d)イメージカラー、(e)スローガン、(f)CIに関する意見の各項目についてイメージ(アンケート)調査を行った。

なお、参考として、これまで日商が海外へ青年部を紹介する時に表現している英語名「Young Entrepreneurs Group」(若き企業家集団)を付記しておいた。特別委員会ではこのアンケート結果に基づいて、前記の自己表現の各事項についてひとつひとつ決めていった。(1)コンセプトについて「望ましいイメージとして多かった「国際感覚」「積極的」「若さ」「信頼」といった言葉の中から、コンセプトを若さ「情熱」「広い視野」に絞った。(2)愛称名「YEG」：やはり、YEG、YEといった回答が圧倒的に多く、この中から「文字がよいか三文字がよいか、響きはどう

か、読み方はどうか、裏に別の意味がないか(例えば「yegg」という意味がある。金を破り、強盗)に留意し、最終的に「YEG」で読み方を「ワイ・イー・ジ」とした。(3)ロゴタイプ：表現したいイメージ、大文字か小文字か、など方針を決めた上、デザイナーに5種類ほど叩き台をつくってもらい、その中からシンプルで分り易いゴシック体を決めた。(4)シンボルマーク：当初、青年部独自のマークの制作を考えていたが、商工会議所の中の青年部であることから、いさよ委員会が討議した結果商工会議所マークと「YEG」のロゴマークを併用することでデザイナーに依頼した。(5)イメージカラー：イメージ調査の結果もたず圧倒的多くた青系統の色にデザイナーに依頼し、コンセプトとマッチした「フレッシュブルー」を推薦することにした。(6)アプリケーション：ロゴマーク・カラーなどの応用のことで「旗」「名刺」「封書」「シール」など統一した商工会議所青年部を表現していく。なお、残念ながら予算上の制約があるので商青連としては本年度で統一的なものはつくりな。

以上の経過を経て、ようやく浜松での全国大会で発表することができました。制作にあたって大変ご苦労いただいた委員各位、デザイナーの大西氏、商青連事務局に、深く感謝いたします。最後に商工会議所青年部のアイデンティティとは他の青年団体と違い、商工会議所の中の青年部なのであり、次代の商工会議所を担い、地域経済を担う「若き企業家集団」なのです。そして、「若さ」と「情熱」をもつて、自らの視野を広げ、切磋琢磨し、己を磨く大切な役割があることを銘記されたい。

か、読み方はどうか、裏に別の意味がないか(例えば「yegg」という意味がある。金を破り、強盗)に留意し、最終的に「YEG」で読み方を「ワイ・イー・ジ」とした。(3)ロゴタイプ：表現したいイメージ、大文字か小文字か、など方針を決めた上、デザイナーに5種類ほど叩き台をつくってもらい、その中からシンプルで分り易いゴシック体を決めた。(4)シンボルマーク：当初、青年部独自のマークの制作を考えていたが、商工会議所の中の青年部であることから、いさよ委員会が討議した結果商工会議所マークと「YEG」のロゴマークを併用することでデザイナーに依頼した。(5)イメージカラー：イメージ調査の結果もたず圧倒的多くた青系統の色にデザイナーに依頼し、コンセプトとマッチした「フレッシュブルー」を推薦することにした。(6)アプリケーション：ロゴマーク・カラーなどの応用のことで「旗」「名刺」「封書」「シール」など統一した商工会議所青年部を表現していく。なお、残念ながら予算上の制約があるので商青連としては本年度で統一的なものはつくりな。

今年度の商青連は、小林会長の「開拓者」をスローガンに、全国青年部が、地域の経済環境づくり、生活環境づくりに寄与して参りました。さて、わが国は、経済ソフトウェアや国際化の激しい構造化にも巧みに適応し、世界をリードする経済大国へと成長いたしました。しかしながら、国際的には、ソ連・東欧の自由化、EC統合等急激に変化する世界情勢の中で、国際戦略の再構築を求められて、国際競争力のような状況の中で、地域総合経済団体である商工会議所の果たす役割は、地域にとって重要な立場であると考えます。そして、我々青年経済人として将来を考え、我々青年はならないものがあると考えます。

街づくりには何が必要か、経済環境はこれよりよいか、生活環境はこれよりよいか、我々の行動はこれよりよいか、今一度再確認する時期と考えます。このようなか、青年部内においては、組織の拡大が進み、全国に商工会議所が輻輳する中、33カ所約70%の設置率が見られ、青年部に対する期待が高まっております。

課題は大都市の青年部設置

しかし、未設置である30%が、今後、青年部の指針にかかわるものと考えます。何故ならば、残り30%は人口30万人以上の大都市であるからであります。これら大都市に設置されれば、青年部が、国際的視野のもとにグローバルな展開ができるからです。

高専とは、現在の商工会議所の立場は、日本の経済のみならず、国際的な立場で重要な使命があると考えます。特に商工会議所活動の活性化を図るうえで、青年経済人の育成の場として設立された商工会議所青年部の役割は、重要性を増していると考えます。今後、青年部は、柔軟な発想と次代への先導者としての責任を十分自覚し、地域経済の発展の支えとなり、豊かに住みよい、行っており、

この問題点を平成2年度で解決し、次年度バトンタッチしたいと考えております。まず、(1)全国大会開催地に関する規定見直しについて、(2)全国大会登録料の見直しについて、(3)商青連会費徴収方法の改正について、(4)商青連役員選出にかかわる規定改正について、(5)商青連役員定数の見直しについて、(6)商青連組織の見直しについて、これら6件について検討して参りました。この6件の中で、5件が2月の役員会および会員総会で決議されました。

全国大会は三地区巡回開催

(1)全国大会開催地に関する規定の見直しについて「開催地の均等化を図るため規定したものである。この規定により、全国9ブロックを東部、中部、西部の3地区に分けて、全国大会をこの3地区内を回して開催すること、4地区内での開催候補地の選定はブロック担当副会長を中心に円滑に行うなどが決まりました。本規定は、平成5年度の全国大会開催地より適用されますが、平成4年度が山形(東部)であることから、平成5年度は中部地区内となります。

以上が、2月の委員会・会員総会に決議され、実施の運びとなりました。しかし、まだ解決・整理しなくてはならない問題が山積みであり、今後の商青連役員の方々に、商青連の創世記から成長期への橋がけとしての活躍を期待し、ご報告いたします。

この規定により、全国9ブロックを東部、中部、西部の3地区に分けて、全国大会をこの3地区内を回して開催すること、4地区内での開催候補地の選定はブロック担当副会長を中心に円滑に行うなどが決まりました。本規定は、平成5年度の全国大会開催地より適用されますが、平成4年度が山形(東部)であることから、平成5年度は中部地区内となります。

以上が、2月の委員会・会員総会に決議され、実施の運びとなりました。しかし、まだ解決・整理しなくてはならない問題が山積みであり、今後の商青連役員の方々に、商青連の創世記から成長期への橋がけとしての活躍を期待し、ご報告いたします。

成熟期へ問題山積み

平成2年度活動報告ならびに決議事項

商青連副会長 津本憲一



第49回商青連役員会 (平成3年1月18日、松江にて)

この橋がけとして解決しなくてはならない問題が山積みしております。この問題を平成2年度で解決し、次年度バトンタッチしたいと考えております。まず、(1)全国大会開催地に関する規定見直しについて、(2)全国大会登録料の見直しについて、(3)商青連会費徴収方法の改正について、(4)商青連役員選出にかかわる規定改正について、(5)商青連役員定数の見直しについて、(6)商青連組織の見直しについて、これら6件について検討して参りました。この6件の中で、5件が2月の役員会および会員総会で決議されました。

全国大会は三地区巡回開催

(1)全国大会開催地に関する規定の見直しについて「開催地の均等化を図るため規定したものである。この規定により、全国9ブロックを東部、中部、西部の3地区に分けて、全国大会をこの3地区内を回して開催すること、4地区内での開催候補地の選定はブロック担当副会長を中心に円滑に行うなどが決まりました。本規定は、平成5年度の全国大会開催地より適用されますが、平成4年度が山形(東部)であることから、平成5年度は中部地区内となります。

以上が、2月の委員会・会員総会に決議され、実施の運びとなりました。しかし、まだ解決・整理しなくてはならない問題が山積みであり、今後の商青連役員の方々に、商青連の創世記から成長期への橋がけとしての活躍を期待し、ご報告いたします。

この規定により、全国9ブロックを東部、中部、西部の3地区に分けて、全国大会をこの3地区内を回して開催すること、4地区内での開催候補地の選定はブロック担当副会長を中心に円滑に行うなどが決まりました。本規定は、平成5年度の全国大会開催地より適用されますが、平成4年度が山形(東部)であることから、平成5年度は中部地区内となります。

以上が、2月の委員会・会員総会に決議され、実施の運びとなりました。しかし、まだ解決・整理しなくてはならない問題が山積みであり、今後の商青連役員の方々に、商青連の創世記から成長期への橋がけとしての活躍を期待し、ご報告いたします。

この規定により、全国9ブロックを東部、中部、西部の3地区に分けて、全国大会をこの3地区内を回して開催すること、4地区内での開催候補地の選定はブロック担当副会長を中心に円滑に行うなどが決まりました。本規定は、平成5年度の全国大会開催地より適用されますが、平成4年度が山形(東部)であることから、平成5年度は中部地区内となります。

以上が、2月の委員会・会員総会に決議され、実施の運びとなりました。しかし、まだ解決・整理しなくてはならない問題が山積みであり、今後の商青連役員の方々に、商青連の創世記から成長期への橋がけとしての活躍を期待し、ご報告いたします。

この規定により、全国9ブロックを東部、中部、西部の3地区に分けて、全国大会をこの3地区内を回して開催すること、4地区内での開催候補地の選定はブロック担当副会長を中心に円滑に行うなどが決まりました。本規定は、平成5年度の全国大会開催地より適用されますが、平成4年度が山形(東部)であることから、平成5年度は中部地区内となります。

以上が、2月の委員会・会員総会に決議され、実施の運びとなりました。しかし、まだ解決・整理しなくてはならない問題が山積みであり、今後の商青連役員の方々に、商青連の創世記から成長期への橋がけとしての活躍を期待し、ご報告いたします。

この規定により、全国9ブロックを東部、中部、西部の3地区に分けて、全国大会をこの3地区内を回して開催すること、4地区内での開催候補地の選定はブロック担当副会長を中心に円滑に行うなどが決まりました。本規定は、平成5年度の全国大会開催地より適用されますが、平成4年度が山形(東部)であることから、平成5年度は中部地区内となります。

平成3年度役員

役職名	青年部名	役職名	氏名
会長	高知商工会議所青年部	直前会長	和田 均
副会長	遠軽商工会議所青年部	直前会長	荒井 範
〃	郡山商工会議所青年部	顧問	野藤 純
〃	新潟商工会議所青年部	顧問	伊藤 雄
〃	浜松商工会議所青年部	顧問	光竹 彦
〃	津商工会議所青年部	顧問	神谷 正
〃	加西商工会議所青年部	顧問	辻 敏
〃	米子商工会議所青年部	顧問	輪 秀
〃	徳島商工会議所青年部	顧問	長谷川 泰
〃	沖繩宮古商工会議所青年部	顧問	堺 二
理事	岩見沢商工会議所青年部	顧問	与那嶺 賢
〃	北上商工会議所青年部	顧問	奥野 一
〃	石巻商工会議所青年部	顧問	吉田 彦
〃	秋田青年経営者協会	顧問	大槻 勝
〃	山形商工会議所青年部	顧問	賢 新
〃	亀田商工会議所青年部	顧問	澤 治
〃	中野商工青年会議	顧問	高橋 男
〃	土浦商工会議所青年部	顧問	藤 啓
〃	足利商工会議所青年部	顧問	三 純
〃	川口商工会議所青年部	顧問	中野 長
〃	柏商工会議所青年部	顧問	大川 清
〃	小田原商工会議所青年部	顧問	大津 輝
〃	関商工会議所青年部	顧問	溜 義
〃	瀬戸商工会議所青年部	顧問	井 久
〃	福井商工会議所青年部	顧問	小瀬 敏
〃	彦根商工会議所青年部	顧問	大橋 正
〃	宇治商工会議所青年部	顧問	永 弘
〃	守口門真商工会議所青年部	顧問	石 良
〃	松江商工会議所青年部	顧問	田 居
〃	岩国商工会議所青年部	顧問	土 正
〃	高松商工会議所青年部	顧問	居 誠
〃	大州商工会議所青年部	顧問	根 雅
〃	高松商工会議所青年部	顧問	芳 敬
〃	平戸商工会議所青年部	顧問	曾 展
〃	山鹿商工会議所青年部	顧問	野 正
〃	別府商工会議所青年部	顧問	山 暢
〃	日向商工会議所青年部	顧問	高 幸
〃	太田商工会議所青年部	顧問	武 一
〃	津山商工会議所青年部	顧問	藤 始
〃		顧問	輪 夫
〃		顧問	治 和
〃		顧問	岡 田
〃		顧問	波 難



商青連平成3年度会長 和田 均

昨年11月の浜松での第13回役員総会におきまして商青連第9代会長として皆様方の承認をいただき、引き継ぎを承る思いとともに、決意を新たにした次第でございます。

思えば二年前、高知での全国大会開催が、商青連の活動の関わりがはかばかであり、大会開催成功の為に、各地を訪問した事が昨日のように思い出されます。

来年度、商青連会長といたしまして、再び全国各地の会員の皆様と商大協議所青年部の活動がますます事は、この上ない光栄と喜びであり、一年間力一杯頑張っております。今まさに政治、経済、文化において、ポスターレシの時代であり、新しい世紀へ向けての変化、変革の大きなうねりが先例のないまま、我々の予想しえない速度に動き出しています。真実

平成3年度 会長 挨拶

青年部は時代の推進役

とは何か、本当の価値とは何かを歴史が証明しはじめている気がいたします。

世界の変革の中、複雑多様化する経営環境の中、経済大国となつた日本は、世界の中の日本としての自覚と認識を新たに、その経済力を生かして、平和と繁栄、より力に貢献すべき時ではないでしょうか。

現在、全国の商工会議所数は約500、総会員数は約150万であり、明治11年初めて設立されて以来10年を過ぎ、全国各地の商工会議所においても100年の歴史が刻まれている。

一世紀を越す歴史の中、激変する環境の中で商工会議所は「企業を育て、地域を伸ばす」を宣言業に、地域社会発展、ひいてはわが国の経済の根幹をリードし支えてきました。今また、100年以上の

歴史と伝統を生かし、21世紀へ向けて時代をリードする時ではないでしょうか。

われわれ各単会の青年部は歴史の推進役としての使命を果たしていただきたいと思ひます。

その全国組織としての商青連も、今年という一つの区切りを迎えようとしています。今までの10年は創生の10年であり、これからは

21世紀へ向けての更なる充実の10年ではないかと考えます。

思えば昭和58年4月に諸先輩方のご努力により、商青連が設立され、61年商大協議所青年部の歌「びゆく大地」が製作され、63年5周年を記念し「明日への挑戦」が出版され、同じく青年部の綱領、「指針」が制定されました。

本当にひとつとつ手さぐりにて、骨格を形成されてこられた歴史は、格別な意義をもち、企業は経営者の意識で変わると

代役員の皆様方と会員の皆様方も青年の意識にて変わるものと信じています。単会の皆様方の衆知を集め、地域経済活性化の更なる一翼を担っていただきたい。

また、せっかく縁があり、同世代として、こうして同時代に生きる者として、そして、商工会議所青年部として、志あるものヒューマンネットワークの結束を更に強めていきたいと思います。

そのが将来、ビジネスネットワークづくりへ発展していく事を期待するとともに、我々青年経済人の活動をアジアから環太平洋、そして世界へと拡大させていきたいと思います。

以上の状況の中、我々は更なる研修、研鑽を積み上げねばならない。自らの人的成長が全ての活性化を推進していく事と確信いたしました。

終わりに、以上のような所信のもとに各事業を本年は進めてまいりたいと考えますので、全国の会員の皆様方並びに関係諸団体の皆様方、絶大なご支援ご協力を心からお願ひ申し上げ、ご挨拶いたします。

人間の成長が全てを活性化

知恵や才覚の限りを尽くして、新しい価値を創造していく、より良い製品を作り、販路を駆け、事業を拡大しようという精神、可能性に挑戦していく魂そのものではないでしょうか。

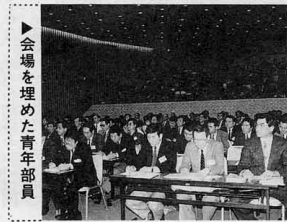
新しい世紀へ向けての10年を考へる時、地に足を付けた足腰の強さ、賢明なる若き企業家集団として前進してまいりたいと考えます。

企業は経営者の意識で変わると

平成3年度年間スケジュール(予定)

(平3.2.7現在)

月	ブロック別運営研究会全国大会	役員総会 中央研修会	役員会(委員会) 正副会長会議	機関紙「翔生」発行、運営活動 状況調査、会議費請求
3月			9日 第51回役員会等 (東京)	
5月				・青年部運営活動状況調査
6月			13日 第52回役員会等 (東京)	
7月			3日~4日 第53回役員会等 (東京)	・商青連費請求(9月末納期)
8月	29日~24日 四国(徳島) 27日 東海(鈴鹿)			・8月末 監事会(平成2年度監事出席)
9月	3日 近畿(高砂) 7日~8日 北陸信越(下湯田) 11日北北海道(岩見沢) 14日~15日 東北(石巻) 28日 中国(下関)			・9月末まで 平成4年度役員候補者の決定 平成5年度全国大会開催地の役員会での選定
10月	2日九州(山鹿) 11日~12日 関東(藤田)		15日 第54回役員会等 (東京)	・機関紙「翔生」(第11号)発行 1冊
11月		15日 第15回役員総会 (松江市)	15日 第55回役員会等 (松江市)	
12月		5日 第56回役員会等 (東京)		・平成4年度役員との懇談会 5冊(東京) ・平成4年度役員第1回打ち合わせ 会及び平成4年度正副会長第1回会議 6冊(東京)
4年		23日 第57回役員会等 (山形市)		・平成4年度役員第2回打ち合わせ 会 2冊(山形市) ・平成4年度正副会長第2回会議 6冊(東京)
2月	6日~7日 第10回中央研修会 (東京)	6日 第58回役員会等 (東京)		・平成4年度役員第3回打ち合わせ 会 6冊(東京) ・平成4年度正副会長第3回会議 7冊(東京)
3月		7日 第16回役員総会 (東京)		・機関紙「翔生」(第12号)発行 1冊



会場を埋めた青年部員



勉強になった講演会

第8回中央研修会報告

研修委員会副委員長 石原将宏

120青年部 230名が参加

「これが、商青連について」と題する基調講演、引き続き、特別講演Iに移り、「流通業界における世界戦略について」と題して、八百半代表取締役社長であり、国際流通グループ・ヤオハン副代表取締役の和田昌氏の企業家としての実体験に基づいて、お話をお聞かせいただきました。

二日目は、第14回通常役員総会の後、特別講演IIIとして、「若手経営者にみる経営者像について」と題して、法政大学・川喜多喬教授に、私達青年部員個々の直面の諸語について、具体的なお話を聞かせいただきました。そして、最後に、本年度・新年度役員別に分かれたグループ・ディスカッションを行い、それぞれの青年部の持つ問題点、商青連への要望等について、熱心に討議をしていただきました。

以上、大変盛り沢山な内容の中央研修会が、最後まで熱心に参加いただいた青年部各位に感謝申し上げますとともに、あまりに盛り沢山な為、タイムスケジュールが遅れてしまご迷惑をおかけしたことを、お詫び申し上げます。

なお、最後に、中央研修会の開催場所(より多くの参加者を募る場合、定員が知名の現会場では小き)、「開催日東京は受験シーズンの為ホテルの確保が難しい」について、ご意見のあったことを申し添え、中央研修会のご報告とさせていただきます。



商青連会長
小林 幹生

日本商工会議所石川六郎会頭と商青連役員との懇談会は、昨年10月4日、東京商工会議所役員会議室で開催され、商青連からは会長をはじめ9名の副会長が発言者として、又、多数の役員がオブザーバーとして出席した。

ボードレス時代に対応せよ

石川日商会頭 商青連役員と懇談

石川 二回目のこのような機会を... 最近経済だけが、文化、政治、社会問題についても... ポテレス化による様々な影響... 出てきています。そういって、やはり日本というものをアイデンティティが大変重要な時期になってきている。中東問題にしても日本はろすべからず、各国から様々な声が出ています。世界中の状況が大きく変わっています。世の中の状況がどうかわりつつある中で、我々はもう一度、どう生きていくべきかが大事な問題だと思います。もう一つはポテレス化の問題... 最近経済だけが、文化、政治、社会問題についてもポテレス化による様々な影響が出てきています。そういって、やはり日本というものをアイデンティティが大変重要な時期になってきている。中東問題にしても日本はろすべからず、各国から様々な声が出ています。世界中の状況が大きく変わっています。世の中の状況がどうかわりつつある中で、我々はもう一度、どう生きていくべきかが大事な問題だと思います。もう一つはポテレス化の問題... 最近経済だけが、文化、政治、社会問題についてもポテレス化による様々な影響が出てきています。そういって、やはり日本というものをアイデンティティが大変重要な時期になってきている。中東問題にしても日本はろすべからず、各国から様々な声が出ています。世界中の状況が大きく変わっています。世の中の状況がどうかわりつつある中で、我々はもう一度、どう生きていくべきかが大事な問題だと思います。もう一つはポテレス化の問題...

日本の産業はますます高度な技術革新が必要です

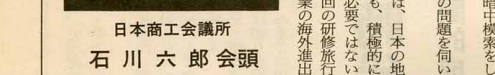
石川 リーダーシップ論というものが一体何なのかよくわからな... 確かに経済界のリーダーは、国際的な視野で日本の経済のあり方を考えるべきであり、それについて国民的な合意を得ていくことは、急務ではないかと思えます。

大型店進出は特色ある街づくりに対応

石川 二回目のごういう機会を... 大店進出による様々な影響... 出てきています。そういって、やはり日本というものをアイデンティティが大変重要な時期になってきている。中東問題にしても日本はろすべからず、各国から様々な声が出ています。世界中の状況が大きく変わっています。世の中の状況がどうかわりつつある中で、我々はもう一度、どう生きていくべきかが大事な問題だと思います。もう一つはポテレス化の問題...

世界から求められる日本の中小企業進出

石川 確かに中小企業は、色々な問題でハンディはあるかもしれませんが、今、世界中から求められる日本の中小企業の進出... 東南アジアでは長らく続いてきた国際分業を行うのあたり、日本の商社やメーカーが間に入ってくださる等、成功している例が多くあります。



日本商工会議所
石川 六郎 会頭



商青連副会長
市原 成章

自然体で謙虚に
石川会頭との懇談会に出席して... 懇談の中で、リーダーシップ論... 二番の力を出すが、その中で一番の力を出して欲しいです。石川会頭は謙虚な御礼を、お返し申し上げます。

石川 二回目のごういう機会を... 最近経済だけが、文化、政治、社会問題についてもポテレス化による様々な影響が出てきています。そういって、やはり日本というものをアイデンティティが大変重要な時期になってきている。中東問題にしても日本はろすべからず、各国から様々な声が出ています。世界中の状況が大きく変わっています。世の中の状況がどうかわりつつある中で、我々はもう一度、どう生きていくべきかが大事な問題だと思います。もう一つはポテレス化の問題...

石川 二回目のごういう機会を... 最近経済だけが、文化、政治、社会問題についてもポテレス化による様々な影響が出てきています。そういって、やはり日本というものをアイデンティティが大変重要な時期になってきている。中東問題にしても日本はろすべからず、各国から様々な声が出ています。世界中の状況が大きく変わっています。世の中の状況がどうかわりつつある中で、我々はもう一度、どう生きていくべきかが大事な問題だと思います。もう一つはポテレス化の問題...

石川 二回目のごういう機会を... 最近経済だけが、文化、政治、社会問題についてもポテレス化による様々な影響が出てきています。そういって、やはり日本というものをアイデンティティが大変重要な時期になってきている。中東問題にしても日本はろすべからず、各国から様々な声が出ています。世界中の状況が大きく変わっています。世の中の状況がどうかわりつつある中で、我々はもう一度、どう生きていくべきかが大事な問題だと思います。もう一つはポテレス化の問題...




石川会頭と
商青連役員

石川 二回目のごういう機会を... 最近経済だけが、文化、政治、社会問題についてもポテレス化による様々な影響が出てきています。そういって、やはり日本というものをアイデンティティが大変重要な時期になってきている。中東問題にしても日本はろすべからず、各国から様々な声が出ています。世界中の状況が大きく変わっています。世の中の状況がどうかわりつつある中で、我々はもう一度、どう生きていくべきかが大事な問題だと思います。もう一つはポテレス化の問題...

石川 二回目のごういう機会を... 最近経済だけが、文化、政治、社会問題についてもポテレス化による様々な影響が出てきています。そういって、やはり日本というものをアイデンティティが大変重要な時期になってきている。中東問題にしても日本はろすべからず、各国から様々な声が出ています。世界中の状況が大きく変わっています。世の中の状況がどうかわりつつある中で、我々はもう一度、どう生きていくべきかが大事な問題だと思います。もう一つはポテレス化の問題...

各地青年部活動報告

地域活性化に 多彩な事業とイベントを展開



静岡県連会長(商青連監事)
上條紀英

浜松全国大会を振り返って

講演は国際会議気分



第十回商工会議所青年部全国大会を、去る十一月十六日(金)十七日(土)の両日、静岡浜松市のグランドホテル浜松を会場に、静岡商工会議所青年部連合会の主催で開催された。誠にありがとうございました。特に今回は第十回大会であり、このような節目の年に開催できたことはたいへん光栄であり、当日は全国二百四十二商工会議所の青年部から総勢二千六百名の参加をいただき、過去最大規模の充実した大会であったと思っております。今日大会は、企画・構成・演出などすべて県連青年部が担当した手づくりの大会で、記念式典など全体の運営は浜松が担当し、懇親会では、沼津が「アターぬまづ」と題してのステージショー、清水・静岡・藤枝が「カジノ・イレブン」と題してのゲームコーナー、掛川が女子プロゴルフによるレッスン教室など盛り沢山の趣向をこらしたアトラクションが開催され、参加されたみなさまも開催は理性を忘れて活発に行動する一幕も見られ、文字通り青年部のエネルギーが十分に感じられる懇親会でした。

また、今日大会開催に際しては計画の段階から二年間を費やしたわけですが、中でも記念講演会の講師選定では青年部メンバーが直接米国に向かい、アルビン・トフラー氏と交渉するなど、たいへん苦労いたしましたし、ほんとうに浜松まで来てくれるのか最後まで不安でした。

当日は全員が英語で理解出来る出来不出来にかかわらず同時通訳のレシーバーを耳に付けて聴講いただいたわけですが、講演会の内容もさることながら、国際会議に出席したような気分になっていたことも今日の目的のひとつであったことを確信しております。

最後に今日大会を志すに改めてイベント運営のむづかしさを実感したと同時に、全国青年部のみなさまから学んだことも多く貴重な経験をさせていただきました。

本年十一月に松江市で開催される第十回大会の成功を心より祈念いたします。

岩見沢青年部



北海道ブロック大会を開催

岩見沢青年部は、現在、情報企画、研修、近代化、広報、総務、会員の六つの委員会を構成され、それぞれの委員会方針により運営されている。例えば、研修委員会では市内に在籍している国、道等の行政サービス機関より各担当者を講師として招き、街づくりを考え、近代化委員会では、地域主導型S・C構想を研究して今後に役立てようとして、今年度における主な事業を挙げると、例年8月の第一土曜日に取られる「いわみざわ夏まつり」では、青年部員が相撲やドラキュラ等の仮装をし、街の中を練り歩き、日頃、見慣れた、商店店の面白可笑しく踊る姿が、多くの市民から大変喜ばれた。このほか仮装による踊りも好評を博したが、参加者は六十三団体

山形青年部



第九回東北ブロック運営研究会

三千五百名に達した。その翌日に開催されることになったが、メンバーの協賛等もあり、年々参加者の増加を誇る傾向にある。昨年の参加チーム数は二十五チーム、参加者三百五十名、観動員数は八千名にもなった。

以上のように、まつりに参加し、会員相互の団結の強化を図り、

大宮青年部



地元経済人の子弟、相次ぎ入会

昭和61年に設立、会員数90名、内女性会員3名

平成2年度は設立5周年と記念すべき年だった。9月7日第10回関東ブロック運営研究会主催、10月28日第3回大宮ハローウィーンコンサート主催、12月11日埼玉県商

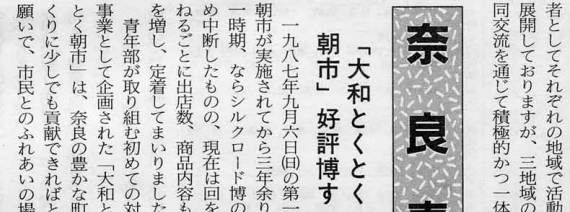
関青年部



近隣三青年部で合同交流会開催

関、美濃加茂、各務原3青年部の旗も仲良く

奈良青年部



「大和とくとく朝市」好評博す

一九八七年九月六日(日)の第一回朝市が実施されてから三年余り、一時期、ならシルクロード博のため中断したものの、現在は回を重ねるごとに、商品内容も数を増し、定着してまいりました。

青年部が取り組む初めての対外事業として企画された「大和とくとく朝市」は、奈良の豊かな町づくりに少しでも貢献できればとの願いで、市民とのふれあいの場を

松代青年部



高速道路開通にCI戦略策定へ

当青年部では、平成4年度に開通する関越自動車道長野線の開通に伴って、当地松代にインターチェンジが設けられることになり、現在工事が急ピッチで行われてお



津山青年部

中国ブロック大会を二日間開催

中国ブロック運営研究会として初めての試みとして、9月8日(土)・9日(日)の二日間開催されました。参加登録者310名が主催地・岡山県津山市に集結しました。津山商工会議所創立60周年の記念事業として開催された本大会では、津山市あげての歓迎のほか、様々な趣向が参加者を待ちうけていました。

一日目は第一部として三つの分科会が行われました。「第一分科会」(今一度語ろう青年部、第二分科会)中国経済ネットワーク(講師・柳子博子氏)「第三分科会」(街づくりの視座) (講師・協都市設計連合理事長 西脇順正氏)。

そして、分科会につづく、パネルディスカッションの後、第二部として、津山の青年部、婦人部の方々の手づくりの料理によるガーデンパーティー形式の交流会が津山産業公園で華やかに催され、音楽の街津山にふさわしいステージも行われました。

二日目は全体会議と記念講演。講演は両備運輸専務取締役の小嶋光信氏による「次代を創造する。中国横断道、四国高速道路網の完成を予測した中国地方の経済の枠組みが着実にできつつある点を指摘。そして、国際社会の視点をどう地方が持つのかといった点にふれた後、「人が育つ」「人が集まる」「人が帰ってくる」地域づくりをしたいと結び、深く感銘をうけた講演でありました。

最後の懇親会では、津山の青年部による手づくりのポップスの演奏と最後まで手づくりの運営研究会でした。



大洲青年部

富士山に青年部事業の観光売店

標高3,776m、大洲盆地の中央にあり、その姿は富士山に似ています。この富士山頂上に至る道路には標高が、そして頂上付近にはツツジが6万本も植えられており、「つつじまつり」(4月25日・5月15日)の頃は一面に咲きほころび、緑の山が紅く色づきます。

その一角に白い展望台があり、私達が運営に参加している観光売店があります。平常は私達の顧問にあたる東原弘泰氏から富士山を訪れる人のために朝早くから清掃し、売店でおいしなお弁当やジュース等を販売しています。

この事業は私達大洲青年部が始めた事業であり、シーズンには会員が当番制で売り子となって接待してまいりました。

大洲のシンボルとして、松川、ととも美しい「富士山」をいつ



高鍋青年部

宮崎県連設立に向けて一歩前進

宮崎県は県下9会議所のうち日向、高鍋、小林、串間の4会議所に青年部があり、そのうち、小林串間はまだ商青連に未加入である。昭和62年日向にて九州ブロック運営研究会が開催され、その後小

高鍋、小林、串間の各青年部が高鍋に集まり、親善ソフトボール大会を行いました。その会場にて各会長と商青連理事が話し合いを行い、平成2年度もしくは3年度までには、県連を設立することを確認しました。



記念講演

それは「2001年への知的原体験共有の場であった」。(新時代は知識が権力を支配すると、権力構造の変化を指摘)

と題し講演。同氏がドラマチックに語った国際社会の展望について講演骨子を紹介します。

「今、世界で権力構造の再構成が始まっている。西欧の中心はパリ、ロンドンからベルリンへ移りつつあり、東欧では権力の真空状態が生じている。ソ連における権力の構構はほとんど崩壊したものにあり、アメリカ・日本・西欧は二十一世紀の経済的覇権を目指して競っている。

日本社会もこの変化を避けることはできない。産業界や政党などあらゆるものが権力(パワー)シフトに巻き込まれる。

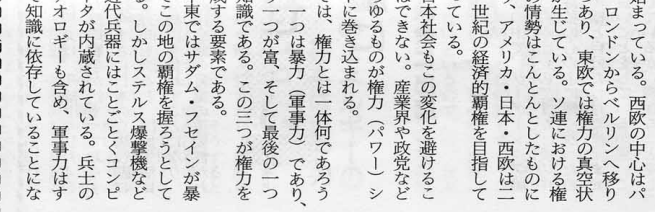
権力は一体何であろうか。一つは暴力(軍力)であり、もう一つが富。そして最後の一つが知識である。この三つが権力を構成する要素である。

中東ではサダム・フセインが暴力でこの地の覇権を握ろうとしている。しかしステルス爆撃機などの近代兵器はここへところどころコンピュータが内蔵されている。兵士のアイデオロギーも含め、軍力はすべて知識に依存していることになり、

日本社会もこの変化を避けることはできない。産業界や政党などあらゆるものが権力(パワー)シフトに巻き込まれる。

権力は一体何であろうか。一つは暴力(軍力)であり、もう一つが富。そして最後の一つが知識である。この三つが権力を構成する要素である。

中東ではサダム・フセインが暴力でこの地の覇権を握ろうとしている。しかしステルス爆撃機などの近代兵器はここへところどころコンピュータが内蔵されている。兵士のアイデオロギーも含め、軍力はすべて知識に依存していることになり、



することが自分達の将来に必要な不可欠であることを十分認識しております。

重要性を増してまいります。日々の地域社会活動と地元経済に深く係わりを持つ青年部が、よりリグロバールな視点を持ち、今後の成長を考え、県連やブロック全体の連携と協力を進め、自分達の将来を見守りてまいります。青年部の活動は県連組織としてより活用し育てていく、より具体的な展望を見いだすことを迫られています。

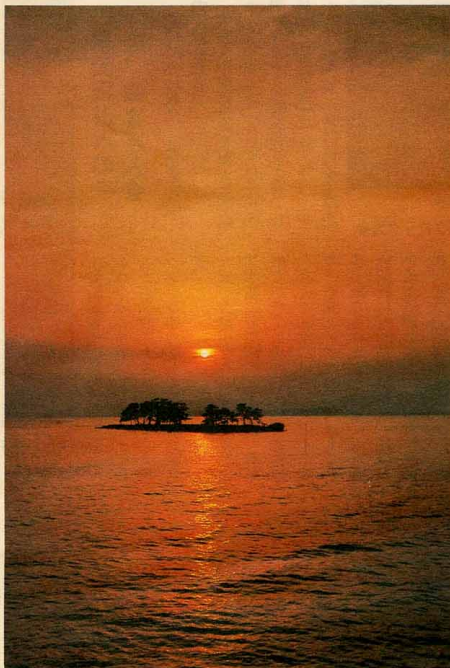
東北各地の青年部は今日まで創意と工夫を重ねた地域活動を通じて着実な成果を挙げてまいりましたが、いともっと大きい将来のビジョン作りを急がねばなりません。これから東北ブロックは県連活動をいっそう充実させ、県連をターミナルとする東北各地青年部のネットワーク化により、相互理解と交流がより活発になるでしょう。

名実ともに東北ネットワークの完成に、各地青年部は努力し協力

る。戦いにあれば知を握るものが勝つのだ。次に富について考えてみよう。かつて富とは農地や金、貴金属などに見えて実際に触れることができるものを意味していた。ところが、現在では新しい富づくりのためのシステムが生まれつつあり、例えは財産としての株式を所有する時、その会社の戦略や技術革新、社員トレーニングなどが問題となってくる。情報が富を生み出すのであると、権力の中で知識、すなわち情報がいかに重要な存在にならなくてはならない。存在はなっていないが分る。会社組織の中でも従業員たちの知識の重要度が増すにつれ会社と従業員との関係は変化せざるをえないだろう。大企業に合わせたシステムである官僚的体制は崩壊、組織の形態はピラミッド的のものから、変化に柔軟に対応できるネットワーク型に移行するのである。」

かみ あり づき 神在月ネットワーク・イン松江(島根)

第11回青年部全国大会 11月15日~16日



宍道湖と嫁ヶ島

朝と夕。陽と雲。一日のうちで刻々と表情を変える碧雲湖

日本一の湖の産地として名を馳せる宍道湖の東岸、帯に松江市の中心部が形成されている。島根県の県庁所在地でありながら人口わずか十四万たらずという松江市は歴史の重みをもたず深く感じさせる静かな城下町である。



松江青年部・全国大会準備特別委員長
櫻井 誠己

平成3年度の第11回青年部全国大会は、11月15、16の両日、島根県の松江市で開催される。松江大会の基本コンセプトは「21世紀へのネットワーク」

21世紀への プログラムづくり

で、21世紀へ向けての具体的なプログラムづくりを旨とする。主管の島根県連は「松江らしさ」を前面に押し出した「楽しく、明るく、エンジョイできる大会」を合言葉に準備を進めており、出雲という大自然のステージに全国の青年部員を迎えたいと全精力を傾注している。松江は、前橋、高岡、大分、水戸、福井、福島、沖縄、山口、高知、浜松につづく11番目の開催地となる。

れる出雲地方は多くの人々が一度は訪ねてみたところの一つとして数え上げられている。確かな出雲地方にはそれ程の魅力がある。神話とロマンス、それが人々の心を引きつける魅力の源泉かも知れない。雄大な大山から見渡す眺望は、人々に引き込まれる神話を心静かに語りかけてくれる。古墳時代、縄文時代の遺跡は時の流れを飛び越えて人々をロマンスの世界へと導いてくれる。

かつて、小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)が「神々の里」として広く海外にも紹介した松江の古い町並みは今でも至る所に点在し、八雲自身がその目で目撃したそのままの姿で、今も生活を営んでいる。自然の営みと人間の営みとがほどよい調和を保ちながら共存し、「過去と現代」が触れ合いながら同居している町、それが松江である。そして、それが松江である。そして、それが松江である。

か、つて、小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)が「神々の里」として広く海外にも紹介した松江の古い町並みは今でも至る所に点在し、八雲自身がその目で目撃したそのままの姿で、今も生活を営んでいる。自然の営みと人間の営みとがほどよい調和を保ちながら共存し、「過去と現代」が触れ合いながら同居している町、それが松江である。そして、それが松江である。そして、それが松江である。

商工会議所青年部の設置状況等(都道府県別)

全国496商工会議所のうち、339商工会議所に設置(設置率: 68.3%)

都道府県名(設置数・率)	都道府県名(設置数・率)	商青連会員数	青年部(265)
北海道(15/41) (36.6%)	北海道(41)	帯広、岩見沢、根室、東山、美幌、遠軽、美幌、赤平、網走、上砂川、登別、歌志内、恵庭	(13)
東北(38/43) (88.4%)	青森(6)	青森、支前、八戸、十和田、五所川原	(5)
岩手(10)	岩手、花巻、北上、江刺、久慈	(5)	
宮城(6)	仙台、塩釜、大巻、気仙沼、古川、白石	(6)	
秋田(5)	秋田、大館	(2)	
山形(6)	山形、酒田、鶴岡、米沢、新庄、長井	(6)	
福島(10)	福島、郡山、会津若松、いわき、白河、原町、会津若木、多賀、相馬、須賀川、一本松	(10)	
新潟(16)	新潟、新潟、燕、村上、五泉、亀田	(5)	
北陸信越(32/50) (64.0%)	富山(8)	富山、高岡、氷見、新湊、魚津、砺波、清川、黒部	(8)
石川(6)	七尾、輪島	(2)	
長野(20)	下諏訪、塩尻、中野、松代、諏訪	(5)	
茨城(9)	水戸、土浦、古河、日立、石岡、下館、那珂、結城、勝田	(9)	
栃木(9)	足利、小山、真岡	(3)	
群馬(10)	前橋、桐生、館林、伊勢崎、高岡、藤岡、太田、沼田	(8)	
埼玉(15)	川口、熊谷、大宮、本庄、与野、蕨、上尾、深谷、浦和、相模	(9)	
千葉(15)	鎌子、本郷、市川、茂原、野田、館山、八街、東金	(9)	
神奈川(7)	相模原、小田原、平塚、厚木、秦野、鎌倉、三浦、相模原	(7)	
東海(24/44) (54.5%)	神奈川(12)	横須賀、小田原、平塚、厚木、秦野、鎌倉、三浦、相模原	(12)
岐阜(14)	甲府、富士吉田	(2)	
静岡(15)	静岡、浜松、沼津、清水、掛川、藤枝	(6)	
岐阜(12)	岐阜、恵那	(2)	
愛知(19)	瀬戸、蒲郡、豊川、春日井、岡崎、豊田	(6)	
三重(14)	津、伊賀、鈴鹿、尾鷲、名張、桑名、上野	(7)	
福井(7)	福井、敦賀、武生、大野、勝山、鯖江	(4)	
滋賀(7)	彦根、草津、守山、八日市	(4)	
京都(8)	舞鶴、福知山、綾部、宇治、高津、亀岡、城陽	(7)	
大阪(18)	泉大津、岸和田、八尾、北大阪、守口、門真、高石、箕面、吹田	(8)	
兵庫(13)	神本、高砂、龍野、小野、加西	(5)	
徳島(7)	徳島、三好、三木、美波、三條、海部、伊予、大洲、東予	(2)	
香川(11)	高松、今治、丸亀、新居町、高松、伊予、大洲、東予	(2)	
岡山(7)	高松、中村、安芸、須賀、高松、高松、高松	(6)	
鳥取(4)	鳥取、鳥取、鳥取、鳥取	(4)	
島根(8)	松江、浜田、出雲、平田、益田、大田、安来、江津	(8)	
中(51/51) (68.6%)	岡山(13)	津山、玉島	(2)
山形(12)	府中、大谷、東広島	(3)	
山崎(14)	下関、宇都、山口、徳山、下松、萩、岩国、山陽、長門、小野田、柳井	(13)	
徳島(6)	徳島、鳴門、小松島、鳴島、阿波池田、阿南	(6)	
香川(6)	高松、丸亀、坂出、観音寺、多度津、善通寺	(6)	
愛媛(11)	宇高松、今治、八幡濱、新居町、高松、伊予、大洲、東予	(8)	
高知(6)	高知、中村、安芸、須賀、高松、高松、高松	(6)	
福岡(19)	八女、豊前、行橋、筑後、富田、甘木、久留米、大川	(8)	
佐賀(8)	伊万里、小倉、鹿島、唐津、武雄	(5)	
長崎(9)	長崎、佐賀、大村、杵築、平戸	(6)	
大分(10)	山崎、高嶺	(1)	
大分(10)	別府、大分、中津、日田、佐伯、白杵、津久見、佐賀、高嶺	(10)	
宮崎(9)	日向、高嶺	(2)	
鹿児島(10)	指宿、串野、川内	(2)	
沖縄(3)	那覇、沖縄、沖縄	(3)	

は、市内にも沢山ありますが、少

を目標し、企画、運営していきま

は、市内にも沢山ありますが、少

を目標し、企画、運営していきま

編集後記

「翔け世界へ 新しい時代の開拓者」のスロガンのもとに、21世紀を担う青年部員として、地域を、日本を、世界を真剣に見つめ考えなければならぬ。今、私達が立ち向かっている大きなウェーブの如く変化を見せ、私達に「21世紀余すところ後一〇年、大きなビジョンの上に立ち、次代を担う先導者としての責任を持ち、勇気と情熱を傾けると言わぬ域のない経済と言われる中で、国内では政治、経済、人口と全

る行動を起こす時が来た」と確信し、本紙発行に際して御協力いただいた青森の事務局の皆様、一生懸命の記事を書いていただいたメンバーの方々、又、全国の愛読者の方々、厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。

し足をのばしていただければ、結びの神で有名な出雲大社、キリシタン殉教地津和野、刃削用たたら製鉄の雲南地方などがあります。島根県連全員でご案内いたします。この大会を通じて皆さんが全国各地より集う青年部の皆さまにお土産としてお持ち帰りいただくものは、「松江」に来て良かった。またもう一度家族あるいは会社のみんなで来てみたい」と満足し感動していただく事です。大会へのご参加を心よりお待ちしております。

編集後記パートII

「青年部のみなさん「翔生」を読んでいますか?」これが広報委員会メンバー全員の平直な気持ちです。中央研修会の中で松下幸之助さんが「鳴かぬなら、それともまたよしホトトギス」と言われたと聞きましたが「読まぬなら、それもまたよし……」と聞かないのが「翔生」です。中にはイベントが、開発が、思想が……といった詰ついています。そして各地域の特色である足が地についた活動ぶりが紹介されています。青年部こそが地域を支えている自負が伺えます。本年最後の広報委員会を青森で開催しました。そこでも地域のリーダー、又、バイオニアとしての自覚されたすばらしいエネルギーを感じてきました。全国の青年部もそうであるにちがいないと確信しました。最後に、本紙発行に際して御協力いただいた青森の事務局の皆様、一生懸命の記事を書いていただいたメンバーの方々、又、全国の愛読者の方々、厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。

は、市内にも沢山ありますが、少

を目標し、企画、運営していきま

特別会 員

都道府県連・連絡協議会(27/47) (57.4%)	北海道連絡協議会	青森県連	宮城県連	山形県連	福島県連	茨城県連	群馬県連	埼玉県連	千葉県連	東京都連	神奈川県連	静岡県連	三重県連	福井県連	滋賀県連	京都府連	大阪府連	兵庫県連	徳島県連	香川県連	愛媛県連	高知県連	福岡県連	佐賀県連	長崎県連	大分県連	宮崎県連	鹿児島県連	沖縄県連
	北海道連絡協議会	青森県連	宮城県連	山形県連	福島県連	茨城県連	群馬県連	埼玉県連	千葉県連	東京都連	神奈川県連	静岡県連	三重県連	福井県連	滋賀県連	京都府連	大阪府連	兵庫県連	徳島県連	香川県連	愛媛県連	高知県連	福岡県連	佐賀県連	長崎県連	大分県連	宮崎県連	鹿児島県連	沖縄県連

(平成3年2月7日現在)